


様式第2号(第9条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度第6回文化振興審議会			
開催日時	令和5年1月13日(金) 開会時刻 午後4時 閉会時刻 午後6時30分			
開催場所	ふじみ野市役所A201			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	伊藤 裕夫	副会長	渡辺 行野
	委員	古田土勝市	委員	福田眞智子
	委員	尾澤 景子	委員	小林葉津子
	委員	貞森 大暉	委員	
	委員		委員	
会議の議題	(1) 第2期ふじみ野市文化振興計画案及び答申案 審議 (2) 第2期ふじみ野市文化振興計画答申 (3) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0 人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和5年1月27日		
	記名押印	役職名 会長 伊藤 裕夫		

(会議の経過)

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
文化・スポーツ振興課長	<p>お集まりいただきありがとうございます。本日は欠席の委員は進藤副会長、岡本委員、東山委員、秋元委員、田中委員の5名の方の欠席から連絡をいただいています。</p> <p>本日の流れですが、今の予定ですと5時半に答申ということで、会長から市長へ答申書をお渡ししていただきます。まずその時に写真撮影を終わった後、市長との意見交換を行います。貞森委員から順番に今回の計画策定の思いとか、これからどういう形で文化振興を進めていきたいとか、などお一人ずつお話をさせていただきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>今日が今期最後の審議会です。前回の12月の会議で出されたご意見等々から修正点を確認していきたいと思います。その後、まだ審議していない第5章計画の推進体制についてご意見をいただきたいと思います。それでは、前回の会議からの修正点について事務局に説明をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局説明＞</p>
伊藤会長	<p>2章から4章までとりあえず修正した場所を説明がありました。重要なのは3章と4章だと思いますが、4章について皆さんのご意見をいただいた部分について、この修正でいいのか、あるいはちょっとニュアンスが違うなどというのがもしあれば、ご指摘をお願いしたいと思います。</p>
渡辺委員	<p>38ページに一番下の四角のところに福祉施設等へのアーティストへの派遣というのがありますが、会場に来られない方のためにこちらが出て行くというアウトリーチというのはあると思うんですが、例えばふじみん号を増やして会場に行きやすいようにするといった交通系の整備をするみたいな話が一瞬出たような気がする。実現できる可能性があるかご検討ください。</p>
事務局	<p>今のお話のところですが、小・中学校の音楽発表会をステラウェストでやりたい学校について希望を聞いています。児童生徒の輸送に関して、900人いる学校では、大型バスが16台必要となります。その予算も必要となりますが、文化施設と情操教育といったところをつなげていきたいと考えています。44ページの取組み「文化施設等で子どもが文化芸術活動を体験する機会の充実」ということで文化施設もアウトリーチを対象にしています。もし可能であればバスで迎えに行って文化施設でいろいろ体験してもらい、学校に送り返す。今まで公民館を体験する学年としては小学校3年生だったことから対象としました。ここで小学校3年生と限定しなくてもいいかどうか、ご意見を頂きたい。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
福田委員	参加というのは主体的なもののニュアンスが強いと思います。行ってみようかなというのではなく、参加しやすさに対する環境づくりのような一文があると良いと思います。
渡辺委員	あとは、場の提供ではないでしょうか。そういったところをあえて意図的に作っているということを示すなど。
伊藤会長	4章の施策の中に近いものがあったと思います。
事務局	アートフェスタの反省会である出演者から、アンコールをやりうと思ったが拍手がなかったからアンコールをやらなかったという話がありました。でも進藤副会長は、「それは違う、拍手したいという演奏を作っていかなければいけない。」と言われていました。
伊藤会長	3章に関して、意見がありましたらお願いします。 それでは、最後の5章について。今まで話をしていないので、事務局から説明をお願いします。
	<事務局説明>
尾澤委員	進捗状況の検証と計画の見直しの所ですが、方向性についてのことだと思いますが、もう少しわかりやすくしてもらいたと思います。
事務局	文化振興審議会では毎年、他の議題が多く、計画に示している各施策目標数値の達成状況も説明ができていませんでした。本来、数値目標を計画のなかで立てましたが、計画を進める中で、今のあたりにいるのかといったことを検証し、さらに力を入れていく点など明らかにしていく必要性を感じています。
伊藤会長	確かに、他の自治体では審議会あるいは特別に評価委員会を設けているところもあります。事業に関して、どのようにやったのか、その中で、できなかったことや未達成について、それは何故かなどについて議論し、自治体によっては、評価報告書を出すところもあります。評価に関しては、審議会で時間があるときに、評価のしくみについて議論してみるのも良いかもしれません。
渡辺委員	主体的な市民を作っていくという流れの中で、参加した人たちの評価をどのようにすくいあげていくのかというのも評価になります。(3)あたりに少し関わってくるのかなと思いました。

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	<p>時には、事後に市民の目線で評価、課題を出してもらい、次年度はこのあたりを整備しよう、あるいは、市に対する要請についてやっていく必要はあるなど。このあたりに関しては、自発的なモデルを作っておくといいのかなという気はします。</p>
事務局	<p>アートフェスタの参加者について、3,000人で本当に正しいのかどうか。</p>
尾澤委員	<p>主催者として数え切れませんでした。どんどん人が入り、出ていくので、もうごちゃごちゃで。アンケートに関してもそうですね。どのように参加者数を押さえればよいのか。</p>
伊藤会長	<p>評価というのは、英語でエバレーションといいますが、価値を高めていくためのもの。価値を高めていくということは、次年度にその結果を生かして良くしていくための評価を行うという考えです。今の段階では、最低限の指標が入っていると思います。</p> <p>市民団体について、コーディネーターの役割が重要です。市民の中に中間支援型の組織の必要性について触れていますが、文化を自分たちがやる団体だけではなく、他の人たちの文化活動を支える、そういう活動に参加しにくい人たちを引っ張り出していくこととか重要です。横浜市では、視覚障がい者の人たちが映画や芝居を観たり、聴覚障がい者の人たちが音楽を聴くことは難しいですが体験して楽しんでもらうための活動をしている人たちもいます。そういったことを踏まえて、こういった文言を増やしたらいいのではという意見がありましたらお願いします。大学生のスポーツあるいは文化活動を応援したいという大学生の活動ケースも全国的に増えています。</p>
貞森委員	<p>教育学部に入学したのですが、学校の先生や幼稚園・保育園の先生になりたい人がいて、機会と場所があれば、積極的に活動してくれる人はたくさんいると思います。活躍できる場を知らないために、大学で勉強して、バイトして、それなりに過ごしてしまう学生がたくさんいると思います。</p>
伊藤会長	<p>例えば、協定を結んでいる大学の学生をインターンという形で文化施設に派遣して、週末に手伝ったりするという風に考えていく必要はあると思います。</p>
貞森委員	<p>市民の役割についてですが、市民が文化活動の主体であることを自覚するのでしょうか。市民が自覚しようという文言なのかと思いました。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	基本的に、文化を作っているのは市民です。どんなに頑張っても行政がお金を出しても、場所を作っても、行政が文化を作ることにはできません。教育の場合は、先生を雇ったり、制度を作ることができます。しかし文化の場合、そんなにカチカチに制度を作っていくものでもないと思います。
尾澤委員	市民団体、文化施設の役割の所ですが、市民と団体文化施設それぞれの所にできれば「情報発信」という言葉をいれてもいいのかなと思いました。市民も情報発信というのは、ママ友のロコミはすごいです。それも一つの情報発信と捉えるのかなと思います。また、団体においてですが、文化施設が指定管理者にかわっていく時に、役割として何かをしていく中で、ここの管理を整えます、努力しますではなく、具体的に何をどうしていくのかという意味で、情報発信をする。役割の中に情報発信の言葉を入れてもいいのではないかと思いました。
伊藤会長	市民と団体の所に情報を繋いで発信し、仲介のようなことをしたいとのことですが、入れても悪くないかもしれません。
事務局	スポーツの審議会でも、情報発信に関して、少年野球をやりたいが、少年野球をどこでやっているのか、という話になりました。そこに関して市役所が情報提供を1から100までできないところもあります。
伊藤会長	そういう意味では、市の役割ではなく、市民、団体の役割に入りたいということですね。そのあたりで、どうやればいいのかということですね。
事務局	その部分をコーディネーターなのか、箱を作っておけばいいのか。具体的ところが難しいです。
尾澤委員	私たち子育て中の人たちにとって、あの子が入っているから行ってみよう、うちの子も行かせようかしらとなって、その時、いつ・どこで、というのを見ます。結局そうになってしまうと、人と人とのつながりがどれだけ強いかになってしまいます。
事務局	具体的に教えていただければと思います。
尾澤委員	ファイブルさんのチラシはいつ・どこで体験会があるのかが一目でわかるので、わざわざスマホで調べなくていいので楽ですね。子どもが学校から持ってくるので。今後文化の方には、指定管理者が入るので、ホームページなど工夫がされると思います。そこに多くの情報やデータを入れてくれるのですか。

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	楽しくないと参加しないなど、これからの課題でしょうか。
伊藤会長	資料3について、ざっと目を通していただき、ご意見をいただきたい。事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
伊藤会長	市長に答申書をお渡しする時、私はこれを読み上げないといけない。全部読み上げるのは長いので、どの部分を説明し、市長に伝えて欲しいかなどありましたら、ご意見ををお願いします。私としては、1と2を合わせて市民、文化団体、企業、大学等の連携とネットワークは実現するためには欠かせませんと。それから、今問題になっている部活の地域移行問題に関して、市が人材育成等に取り組まないわけにはいきませんが、ここには書いていませんが、予算もきちんとつかないと。そのための情報発信ツールについては、強調しようと思っています。このあたりで、ここは欠かせないというご指摘があればいただきたい。私自身、抜けているなど思うのが、多様性に関する事。あらゆる困難を抱えている人たちにも何かできるような環境をつくっていくということも伝えたいと思っています。ただ、一言二言で伝えるのは難しいなとも思います。
渡辺委員	誤字脱字で何点か。31頁中央部分にNが入ってしまっています。35頁注一番下、文化施設の文化の化の字が抜けています。39頁注12選ばれましたの、ばが、かになっている。40ページ黒丸が3つ並んでいる所が1つづれています。
尾澤委員	28頁、参加多様性のクォーテーションがずれています。それと個人的なことですが第4章成果指標の「■□成果指標□■」の部分で毎回見るたびに白四角が「口」に見えてしまうので外した方が良いと思います。
伊藤会長	細かい部分等いろいろあると思いますので、皆さんの方で気づかれたらお願いします。
事務局	将来像の部分で、最後に「ふじみ野」をキーワード的につけています。文章が長いので入っていてもいなくてもいいのですが。感覚の問題です。ご意見があればお願いしたい。事務局にお任せしていただくという形でよろしいでしょうか。
伊藤会長	特にないようですので、事務局にお任せします。

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>《休憩後、答申》  《答申後、市長との懇談》  《再開》</p> <p>計画の今後の予定ですが、来週、1月20日の金曜日から1か月間市民に対するパブリックコメントを実施する予定です。市内の公共施設に設置して、市民の方々からご意見をいただきます。そして、いただいた意見を計画に反映させるかどうか判断します。その後、計画書の冊子を作成します。だいたい3月中旬から下旬頃を目指して作業を進めていきます。作成した計画書は委員の皆さんにもお配りいたします。</p>
伊藤会長	<p>今日いただいた意見とパブリックコメントを踏まえて、多少の修正が入ると思います。軽微な修正については、事務局と私で調整させていただきたいと思います。その他について、事務局からありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>事務連絡を1点。委員の皆さんに選定いただく事業となります、文化芸術活動未来応援事業と企画提案型委託事業があります。未来応援事業については、補助金。企画提案型委託事業は委託の事業となっており、年度当初に委員の皆さんから意見をいただきながら選定し、事業展開をしています。来年度についても、同じような形で実施していきたいと思いますが、変更箇所が1つあります。企画提案型委託事業については、指定管理者の事業に含まれます。ただ、指定管理者にすべてをお願いすることではなく、市と連携しながら実施していきたいと思っています。また、募集や市民に対する説明会を予定しており、今年度と同じ4月に募集を開始し、5月上旬に選定するというスケジュールで進めたいと考えております。選定にあたっては、委員の皆さんの意見を伺ったうえで、事業を盛り上げられるような内容のものを採択していきます。その際は、どうぞよろしくをお願いします。また、来年度第1回の会議を4月下旬から5月上旬頃になろうかと思いますが、そちらの議題に入れさせていただく予定でいます。</p>
伊藤会長	<p>説明いただいた内容について、質問、確認点などはありますか。一番の大きなポイントは、提案型の事業に指定管理者が絡んでくる形になります。逆に言うと、指定管理者との付き合いが始まっていくと思いますので、その第一歩になります。その面で、指定管理者による管理だけではなく、市民との関わりを生かしていく、その部分を見ていかないといけないと思います。来年度1回目の審議会で議論できれば良いと思っています。他に無いようですので、今年度はこれが最後となります。来年度またよろしく願いいたします。それでは進进行を事務局に戻します。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>来年度は、西の文化施設が完成いたします。その次は、東の文化施設（ステラ・イーストホール棟）の解体が始まり、そこの設計についてもある程度決めていくこととなります。西の文化施設の事業計画を指定管理者が担当することで、パワーアップしていきます。今年度は、30本ほどの事業をやっていますが、これが20本になってしまった、という話ではおかしな話です。そういう部分も含め、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思えます。計画策定に関しては、長期にわたり本当にありがとうございました。それではこれを持ちまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>